

みらいしんきん Report

景気動向調査のまとめ

調査期間 2020年1月～3月

大分みらい信用金庫では、3ヶ月毎に「中小企業景気動向調査」を実施しています。

株価と為替の動き



調査内容

2020年1～3月期の業況/2020年4～6月期の業況予想

今回の調査実施時期

2020年3月上旬

調査先数

大分市・別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・由布市・日出町・福岡県築上郡(事業所215先)

調査先業種内訳

製造業	31先	小売業	60先
卸売業	25先	サービス業	60先
建設業	22先	不動産業	17先

調査方法

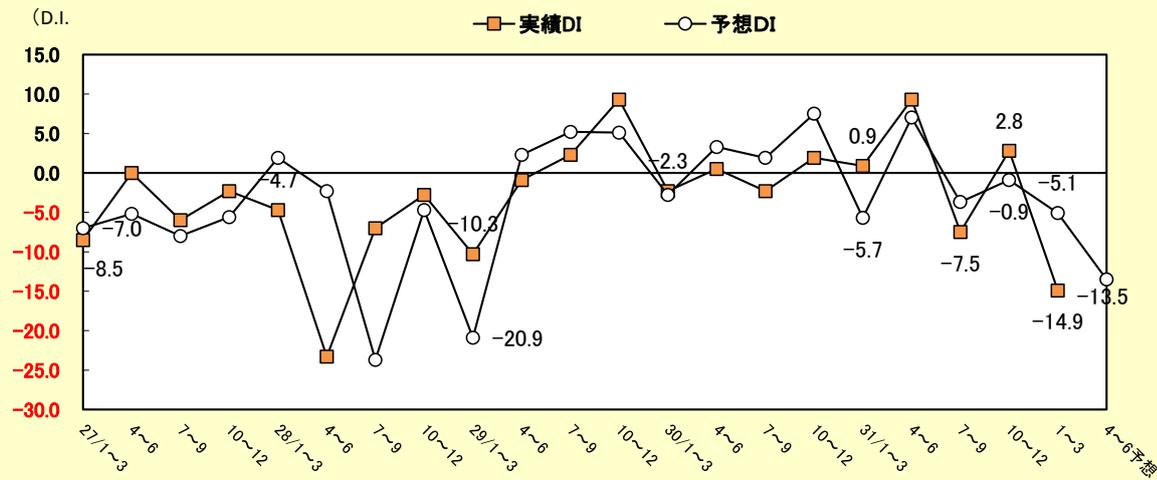
面接・聞き取りによる感触調査

分析方法

各質問項目で、「増加」(上昇)したとする事業所の全体に占める割合と、「減少」(下降)したとする事業所の割合との差(判断DI)で分析しています。

県内経済概況

業況判断・実績DI/予想DI値推移



表の見方

業種別天気図



	1~3月期実績				4~6月期予想			
	総合	別府	大分	県北	総合	別府	大分	県北
総合	▲14.9	▲28.6	▲3.6	▲7.5	▲13.5	▲19.8	▲7.1	▲12.5
製造業	▲16.1	▲25.0	▲20.0	0.0	▲29.0	▲37.5	▲40.0	▲10.0
小売業	▲18.3	▲30.7	▲3.8	▲25.0	▲6.6	▲11.5	7.6	▲37.5
卸売業	▲32.0	▲66.6	▲10.0	▲16.6	▲12.0	▲22.2	▲10.0	0.0
サービス業	▲20.0	▲39.2	▲3.5	0.0	▲25.0	▲39.2	▲10.7	▲25.0
建設業	18.1	60.0	11.1	0.0	9.0	40.0	0.0	0.0
不動産業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.5	▲33.3	0.0

1月~3月の県内経済概況

1月~3月の調査地域全域における企業の景況感を示す総合業況DIは▲14.9となり、前期比17.7ポイント下降となっています。

業種別の状況を見ると、製造業は▲16.1となり、前期比16.1ポイント下降、小売業は▲18.3となり、前期比18.3ポイント下降、卸売業は▲32.0となり、前期比28.0ポイント下降、サービス業は▲20.0となり、前期比23.3ポイント下降、建設業は18.1となり、前期比4.5ポイント上昇、不動産業は0.0となり、前期比11.7ポイント下降となっています。

地域別では、別府地区が▲28.6となり、前期比21.9ポイント下降、大分地区が▲3.6となり、前期比17.9ポイント下降、県北地区が▲7.5となり、前期比7.5ポイント下降となっています。

業種別景況

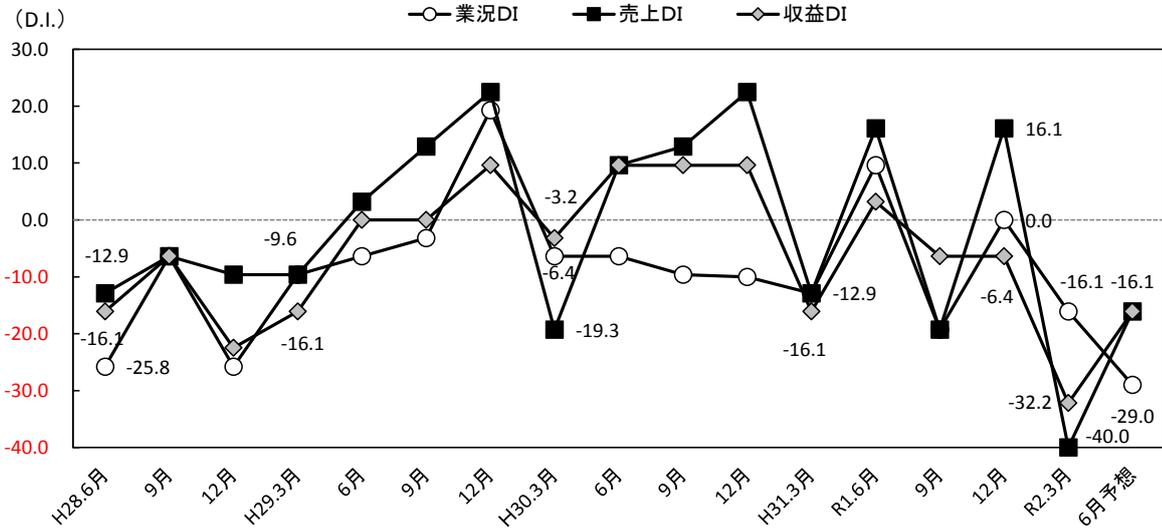
製造業

● 当期(1月～3月)の景況

全域における業況DIは▲16.1となり、前期比16.1ポイント下降、前年同期比3.2ポイント下降となっています。売上DIは▲40.0となり、前期比56.1ポイント下降、前年同期比27.1ポイント下降となっています。収益DIは▲32.2となり、前期比25.8ポイント下降、前年同期比16.1ポイント下降となっています。
 地域別の業況DIでは、別府地区が▲25.0となり、前期比18.8ポイント下降、前年同期比と同水準、大分地区が▲20.0となり、前期比20.0ポイント下降、前年同期比と同水準、県北地区が0.0となり、前期比10.0ポイント下降、前年同期比10.0ポイント下降となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは▲29.0となり、今期比12.9ポイント下降となっています。売上予想DIは▲16.1となり、今期比23.9ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲16.1となり、今期比16.1ポイント上昇となっています。
 地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲37.5、大分地区が▲40.0、県北地区が▲10.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	22.9%
人手不足	11.4%
同業者間の競争激化	11.4%
原材料高	9.8%
工場・機械の狭小・老朽化	3.2%

最重要経営施策

販路拡大	30.3%
経費節減	18.1%
人材確保	9.0%
特になし	4.5%
提携先探す	4.5%

経営者のみなさまの主なコメント

- 2月よりコンビニへの高菜の納入が決定している。また、その他のメーカーや小売業者に対しても積極的にセールスを行っている。(食品)
- メーカーからの受注が減少している。(自動車部品)
- 最近受注が減少傾向。そのため売上、利益ともに減少傾向にある。(金属加工)
- 現在、事業承継に向けた動きを行っている。(和菓子・パン製造販売)
- 受注はあるが従業員の高齢化や売掛金回収に時間がかかり売上げが落ちている。(籠製品)

小 売 業

● 当期(1月～3月)の景況

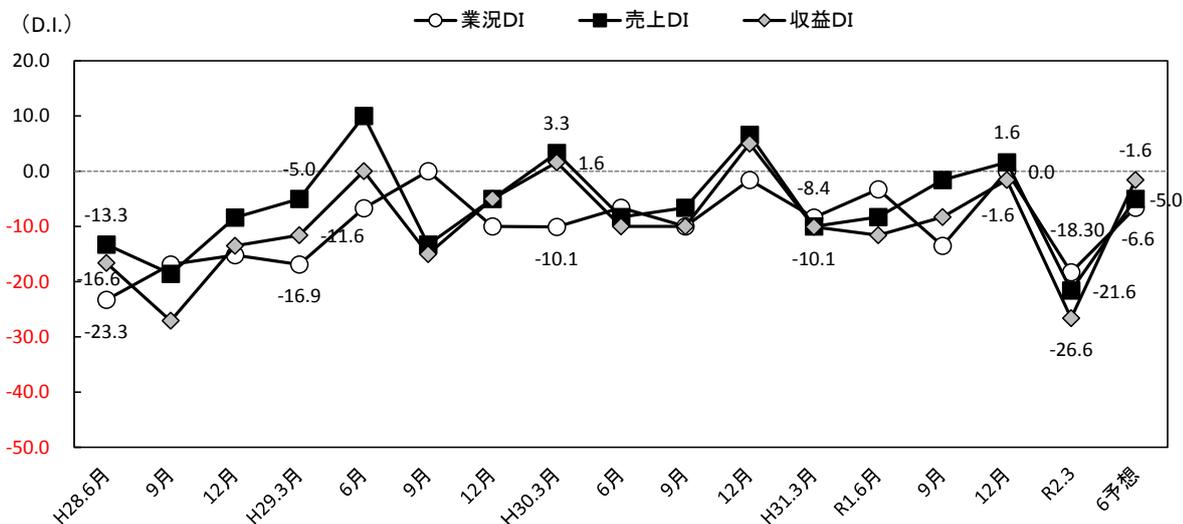
全域における業況DIは▲18.3となり、前期比18.3ポイント下降、前年同期比9.9ポイント下降となっています。売上DIは▲21.6となり、前期比23.2ポイント下降、前年同期比11.6ポイント下降となっています。収益DIは▲26.6となり、前期比25.0ポイント下降、前年同期比16.5ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲30.7となり、前期比26.7ポイント下降、前年同期比26.7ポイント下降、大分地区が▲3.8となり、前期比3.8ポイント下降、前年同期比3.8ポイント上昇、県北地区が▲25.0となり、前期比37.5ポイント下降、前年同期比と同水準となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは▲6.6となり、今期比11.7ポイント上昇となっています。売上予想DIは▲5.0となり、今期比16.6ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲1.6となり、今期比25.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲11.5、大分地区が7.6、県北地区が▲37.5となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	25.2%
大型店競争激化	14.2%
取引先減少	6.7%
人手不足	10.0%
同業者間の競争激化	11.7%

最重要経営施策

経費節減	59.0%
品揃え改善	52.2%
売筋商品取扱	34.0%
仕入先開拓・選別	20.4%
宣伝・広告強化	22.7%

経営者のみなさまの主なコメント

- 主要取引先であったスーパーの店舗網縮小等により売上は減少の一途。主要産業である旅館・ホテルにおいても需要が減少している。営業利益段階での赤字が続いており事業継続の岐路に差し掛かっている。(お茶)
- 競合他社に対して行うべき戦略が立たず思うように売上げが伸ばせない状態。(精肉類)
- 中国人観光客の日本産ウイスキーの購入が引続き好調を維持している。日韓関係の悪化及びコロナの影響により主要取引先である旅館ホテルへの納入が減少しておりインバウンド減少の影響を受けている。(酒類販売)
- インターネット及び電子書籍の普及により販売部数は年々減少傾向にある。観光地の駅前メインストリートに立地しており外国人客は年々増加しているが総売上に対する割合は低い。(書籍販売)
- 自動車販売がメインで海外情勢に左右されることはないが、部品の仕入れ等一部海外製品を取り扱うときは影響が出てくる。(自動車販売、小売り、修理)
- コロナの影響が今後広まっていくのではないかと心配している。(衣料品)
- 新しく家具のレンタルを開始した。今後注力していく。(家具・販売)
- 地場産業の衰退もあり売上が低下している。(生花)
- マスク数の品薄が深刻であるが売上げは現状ある程度安定している。(飲食料品)

卸 売 業

● 当期(1月～3月)の景況

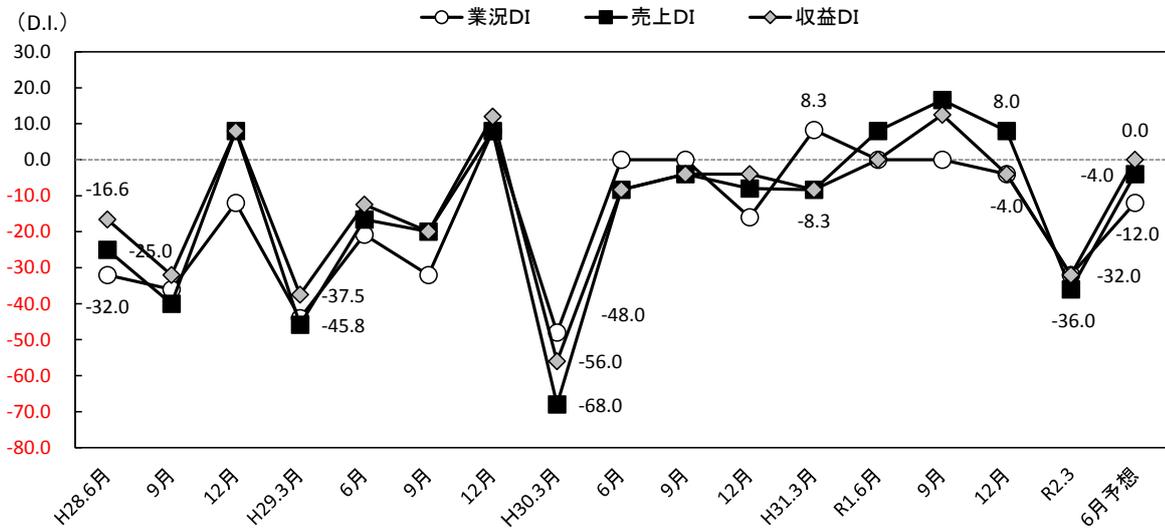
全域における業況DIは▲32.0となり、前期比28.0ポイント下降、前年同期比40.3ポイント下降となっています。売上DIは▲36.0となり、前期比44.0ポイント下降、前年同期比27.7ポイント下降となっています。収益DIは▲32.0となり、前期比28.0ポイント下降、前年同期比23.7ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲66.6となり、前期比44.4ポイント下降、前年同期比79.1ポイント下降、大分地区が▲10.0となり、前期比10.0ポイント下降、前年同期比10.0ポイント下降、県北地区が▲16.6となり、前期比33.2ポイント下降、前年同期比33.2ポイント下降となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは▲12.0となり、今期比20.0ポイント上昇となっています。売上予想DIは▲4.0となり、今期比32.0ポイント上昇となっています。収益予想DIは0.0となり、今期比32.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲22.2、大分地区が▲10.0、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

売上停滞・減少	14.5%
同業者間の競争激化	14.5%
人手不足	7.2%
取引先減少	7.2%
利幅縮小	3.6%

最重要経営施策

販路拡大	22.7%
経費節減	18.1%
情報力強化	13.6%
品揃えの充実化	4.5%
人材確保	11.3%

経営者のみなさまの主なコメント

- 売上が減少している。販売先の回収サイトが長期化しており、資金繰りに悩んでいる。(木材卸売)
- 漁獲量は昨年と変わらずだが同業者との価格競争などもあり難しい。(魚製品)
- コロナの影響が今後広まってくるのではないかと心配している。(壁クロス表装材)
- 事業継承を1年以内に考えている。(青果物卸売)
- コロナの影響で春の展示会が中止になるなどコロナによる影響を受けている。(建築材料)

サービス業

● 当期(1月～3月)の景況

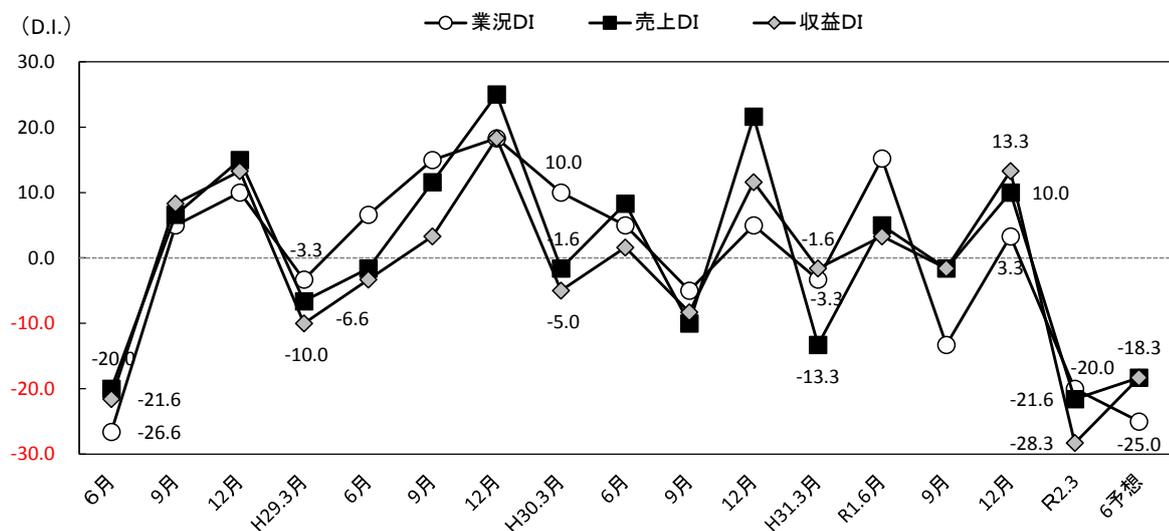
全域における業況DIは▲20.0となり、前期比23.3ポイント下降、前年同期比16.7ポイント下降となっています。売上DIは▲21.6となり、前期比31.6ポイント下降、前年同期比8.3ポイント下降となっています。収益DIは▲28.3となり、前期比41.6ポイント下降、前年同期比26.7ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が▲39.2となり、前期比21.4ポイント下降、前年同期比32.1ポイント下降、大分地区が▲3.5となり、前期比32.0ポイント下降、前年同期比3.5ポイント下降、県北地区が0.0となり、前期比25.0ポイント上昇、前年同期と同水準となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは▲25.0となり、今期比5.0ポイント下降となっています。売上予想DIは▲18.3となり、今期比3.3ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲18.3となり、今期比10.0ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が▲39.2、大分地区が▲10.7、県北地区が▲25.0となっています。



経営上の問題点

人手不足	18.1%
同業者間の競争激化	15.7%
売上停滞・減少	19.0%
人件費増加	4.9%
材料価格の上昇	5.7%

最重要経営施策

販路拡大	27.1%
経費節減	19.4%
人材確保	13.5%
宣伝・広告強化	6.7%
店舗・設備改装	7.6%

経営者のみなさまの主なコメント

- コロナの影響で小中学校が休校となり、給食用のパンの注文がキャンセルとなるなど売上への打撃が大きい。(食品等製造業)
- 旅館のキャンセル等の影響により受注減少になる可能性がある。(ビルメンテナンス業)
- コロナの影響が菓子業界にも広がってきている。(菓子製造業)
- 日韓関係の悪化による売上への影響は少なかったが、コロナの影響で旅行客が減少すると売上に影響がある。(観光施設の運営)
- 固定客が多く、売上げは安定している。(洋菓子屋製造)
- コロナの影響により、国内外の顧客が減少しており先の見通しがつかない状態となっている。(宿泊サービス)

建設業

● 当期(1月～3月)の景況

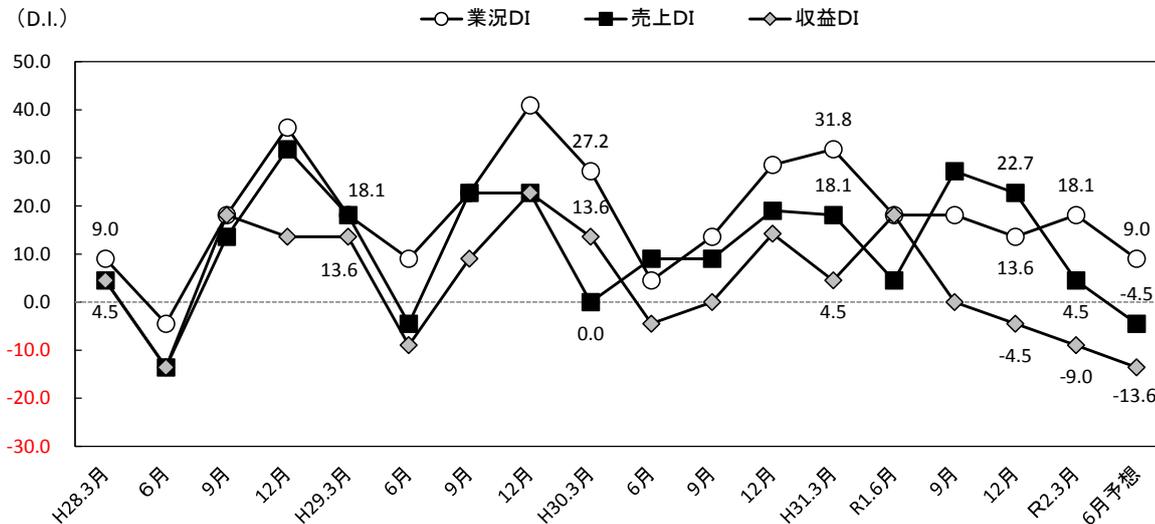
全域における業況DIは18.1となり、前期比4.5ポイント上昇、前年同期比13.7ポイント下降となっています。売上DIは4.5となり、前期比18.2ポイント下降、前年同期比13.6ポイント下降となっています。収益DIは▲9.0となり、前期比4.5ポイント下降、前年同期比13.5ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が60.0となり、前期比20.0ポイント上昇、前年同期比20.0ポイント上昇、大分地区が11.1となり、前期比11.1ポイント下降、前年同期比44.4ポイント下降、県北地区が0.0となり、前期比12.5ポイント上昇、前年同期と同水準となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは9.0となり、今期比9.1ポイント下降となっています。売上予想DIは▲4.5となり、今期比9.0ポイント下降となっています。収益予想DIは▲13.6となり、今期比4.6ポイント下降となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が40.0、大分地区が0.0、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

人手不足	22.6%
同業者間の競争激化	20.7%
材料価格の上昇	11.3%
下請の確保難	9.4%
利幅縮小	7.5%

最重要経営施策

人材確保	24.4%
経費節減	15.5%
販路拡大	24.4%
技術力向上	8.8%
情報力強化	6.6%

経営者のみなさまの主なコメント

- 受注は増加傾向にある。(屋根工事)
- 昨年より原材料の価格上昇しており利益の確保が非常に難しくなっている。経費削減が今後の課題である。(建設工事)
- コロナの影響により資材の流通が滞っており、工期に遅れが出始めている。(建設業)

不動産業

● 当期(1月～3月)の景況

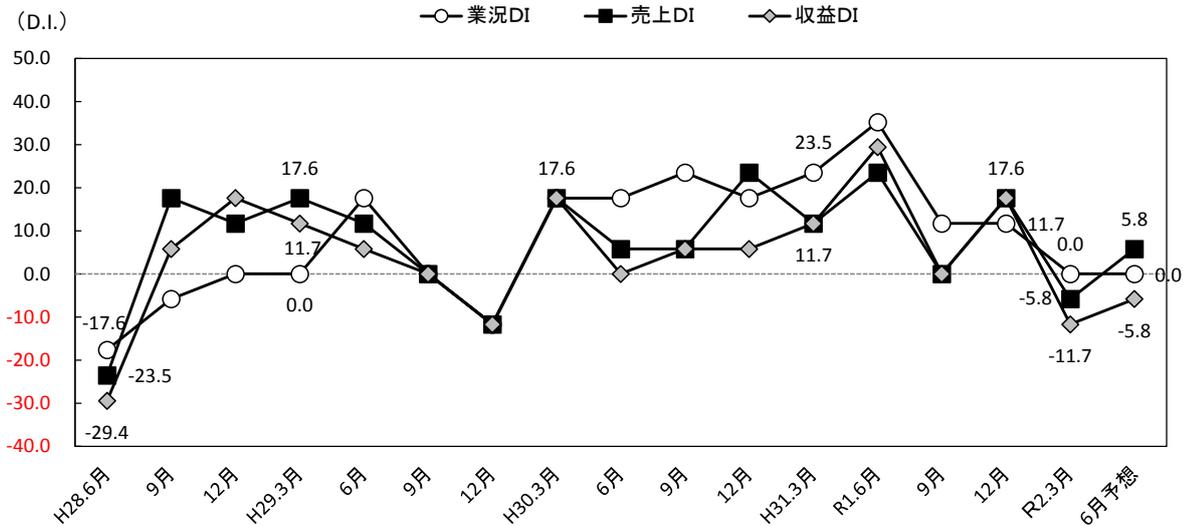
全域における業況DIは0.0となり、前期比11.7ポイント下降、前年同期比23.5ポイント下降となっています。売上DIは▲5.8となり、前期比23.4ポイント下降、前年同期比17.5ポイント下降となっています。収益DIは▲11.7となり、前期比29.3ポイント下降となり、前年同期比23.4ポイント下降となっています。

地域別の業況DIでは、別府地区が0.0となり、前期比14.2ポイント下降、前年同期と同水準、大分地区が0.0となり、前期比33.3ポイント下降、前年同期比33.3ポイント下降、県北地区が0.0となり、前期比25.0ポイント上昇、前年同期比50.0ポイント下降となっています。

● 来期(4月～6月)の見通し

全域における業況予想DIは0.0となり、今期と同水準となっています。売上予想DIは5.8となり、今期比11.6ポイント上昇となっています。収益予想DIは▲5.8となり、今期比5.9ポイント上昇となっています。

地域別の業況予想DIでは、別府地区が28.5、大分地区が▲33.3、県北地区が0.0となっています。



経営上の問題点と重要経営施策

経営上の問題点

商品物件不足	12.0%
同業者間の競争激化	32.0%
売上停滞・減少	4.0%
利幅縮小	16.0%
問題なし	16.0%

最重要経営施策

情報力強化	26.6%
販路拡大	16.6%
宣伝・広告強化	20.0%
経費節減	10.0%
特になし	10.0%

経営者のみなさまの主なコメント

- 売上等は平年並みで推移している。(不動産賃貸仲介業)
- 大手資本による観光地別府の不動産に対する貸し付けも完全に落ち着いた。学生向けアパート等、収益性不動産に対する需要は引き続き多いものの別府市内全般に絶対数が不足している。(不動産業)
- 海外情勢による影響は特になし。(不動産売買仲介)

D I 数 値

全域合計

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	1月～3月実績	△ 14.9	△ 16.1	△ 18.3	△ 32.0	△ 20.0	18.1	0.0
	4月～6月予想	△ 13.5	△ 29.0	△ 6.6	△ 12.0	△ 25.0	9.0	0.0
売 上	1月～3月実績	△ 22.0	△ 40.0	△ 21.6	△ 36.0	△ 21.6	4.5	△ 5.8
	4月～6月予想	△ 9.3	△ 16.1	△ 5.0	△ 4.0	△ 18.3	△ 4.5	5.8
受注残	1月～3月実績	△ 13.2	△ 25.8	***	***	***	4.5	***
	4月～6月予想	△ 9.4	△ 16.1	***	***	***	0.0	***
施工高	1月～3月実績	9.1	***	***	***	***	9.0	***
	4月～6月予想	△ 4.5	***	***	***	***	△ 4.5	***
収 益	1月～3月実績	△ 25.6	△ 32.2	△ 26.6	△ 32.0	△ 28.3	△ 9.0	△ 11.7
	4月～6月予想	△ 9.8	△ 16.1	△ 1.6	0.0	△ 18.3	△ 13.6	△ 5.8
販売価格	1月～3月実績	1.4	6.4	1.6	△ 8.0	1.6	4.5	0.0
	4月～6月予想	△ 0.5	9.6	0.0	△ 12.0	0.0	0.0	△ 5.8
仕入価格	1月～3月実績	9.8	6.4	6.6	△ 4.0	18.3	22.7	0.0
	4月～6月予想	8.8	9.6	6.6	4.0	10.0	22.7	0.0
在庫	1月～3月実績	1.9	0.0	1.6	0.0	***	0.0	11.7
	4月～6月予想	△ 3.2	0.0	0.0	△ 16.0	***	△ 4.5	0.0
資金繰り	1月～3月実績	△ 16.7	△ 16.1	△ 23.3	△ 16.0	△ 21.6	0.0	0.0
	4月～6月予想	△ 14.4	△ 12.9	△ 16.6	△ 12.0	△ 23.3	0.0	0.0
残業時間	1月～3月実績	△ 4.7	△ 6.4	△ 5.0	△ 4.0	△ 3.3	△ 9.0	0.0
	4月～6月予想	△ 2.8	△ 3.2	3.3	0.0	△ 6.6	△ 13.6	0.0
人手状況	1月～3月実績	△ 23.8	△ 16.1	△ 20.3	△ 4.0	△ 36.6	△ 36.3	△ 17.6
	4月～6月予想	△ 23.4	△ 16.1	△ 22.0	△ 4.0	△ 33.3	△ 36.3	△ 17.6

別府地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業 況	1月～3月実績	△ 28.6	△ 25.0	△ 30.7	△ 66.6	△ 39.2	60.0	0.0
	4月～6月予想	△ 19.8	△ 37.5	△ 11.5	△ 22.2	△ 39.2	40.0	28.5
売 上	1月～3月実績	△ 39.6	△ 50.0	△ 42.3	△ 55.5	△ 39.2	20.0	△ 28.5
	4月～6月予想	△ 15.6	△ 31.2	△ 12.0	11.1	△ 35.7	40.0	14.2
受注残	1月～3月実績	△ 28.6	△ 43.7	***	***	***	20.0	***
	4月～6月予想	△ 9.5	△ 18.7	***	***	***	20.0	***
施工高	1月～3月実績	20.0	***	***	***	***	20.0	***
	4月～6月予想	20.0	***	***	***	***	20.0	***
収 益	1月～3月実績	△ 41.8	△ 37.5	△ 42.3	△ 66.6	△ 42.8	△ 20.0	△ 28.5
	4月～6月予想	△ 13.2	△ 25.0	△ 7.6	11.1	△ 28.5	0.0	14.2
販売価格	1月～3月実績	2.2	6.2	0.0	△ 11.1	7.1	0.0	0.0
	4月～6月予想	△ 2.2	6.2	△ 3.8	△ 22.2	0.0	0.0	0.0
仕入価格	1月～3月実績	9.9	6.2	3.8	△ 11.1	21.4	40.0	0.0
	4月～6月予想	8.8	6.2	7.6	△ 11.1	14.2	40.0	0.0
在庫	1月～3月実績	0.0	0.0	△ 3.8	11.1	***	0.0	0.0
	4月～6月予想	△ 6.3	△ 6.2	△ 3.8	△ 11.1	***	0.0	△ 14.2
資金繰り	1月～3月実績	△ 28.6	△ 31.2	△ 38.4	△ 22.2	△ 35.7	20.0	0.0
	4月～6月予想	△ 23.1	△ 18.7	△ 26.9	△ 22.2	△ 32.1	0.0	0.0
残業時間	1月～3月実績	△ 8.8	△ 12.5	△ 7.6	△ 11.1	△ 7.1	△ 20.0	0.0
	4月～6月予想	△ 6.6	△ 12.5	3.8	△ 11.1	△ 10.7	△ 20.0	0.0
人手状況	1月～3月実績	△ 30.8	△ 25.0	△ 30.7	0.0	△ 46.4	△ 40.0	△ 14.2
	4月～6月予想	△ 29.7	△ 25.0	△ 34.6	0.0	△ 39.2	△ 40.0	△ 14.2

大分地区

		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	1月～3月実績	△ 3.6	△ 20.0	△ 3.8	△ 10.0	△ 3.5	11.1	0.0
	4月～6月予想	△ 7.1	△ 40.0	7.6	△ 10.0	△ 10.7	0.0	△ 33.3
売上	1月～3月実績	△ 6.0	△ 50.0	0.0	△ 20.0	△ 7.1	0.0	16.6
	4月～6月予想	△ 2.4	20.0	7.6	0.0	△ 7.1	△ 33.3	0.0
受注残	1月～3月実績	7.1	20.0	***	***	***	0.0	***
	4月～6月予想	0.0	20.0	***	***	***	△ 11.1	***
施工高	1月～3月実績	0.0	***	***	***	***	0.0	***
	4月～6月予想	△ 33.3	***	***	***	***	△ 33.3	***
収益	1月～3月実績	△ 7.1	△ 40.0	△ 7.6	△ 10.0	△ 10.7	11.1	16.6
	4月～6月予想	△ 1.2	0.0	11.5	10.0	△ 7.1	△ 22.2	△ 16.6
販売価格	1月～3月実績	0.0	20.0	0.0	0.0	△ 7.1	11.1	0.0
	4月～6月予想	△ 1.2	40.0	0.0	0.0	△ 3.7	△ 11.1	△ 16.6
仕入価格	1月～3月実績	4.8	0.0	0.0	0.0	14.2	0.0	0.0
	4月～6月予想	6.0	20.0	0.0	20.0	3.5	11.1	0.0
在庫	1月～3月実績	7.1	0.0	7.6	0.0	***	0.0	33.3
	4月～6月予想	0.0	20.0	0.0	△ 10.0	***	△ 11.1	16.6
資金繰り	1月～3月実績	△ 6.0	△ 20.0	△ 7.6	△ 10.0	△ 7.1	11.1	0.0
	4月～6月予想	△ 7.1	△ 20.0	△ 7.6	0.0	△ 14.2	11.1	0.0
残業時間	1月～3月実績	2.4	20.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	4月～6月予想	5.1	60.0	7.6	10.0	△ 3.5	△ 11.1	0.0
人手状況	1月～3月実績	△ 20.5	△ 20.0	△ 8.0	△ 10.0	△ 32.1	△ 22.2	△ 33.3
	4月～6月予想	△ 21.7	△ 40.0	△ 8.0	△ 10.0	△ 32.1	△ 22.2	△ 33.3

県北地区

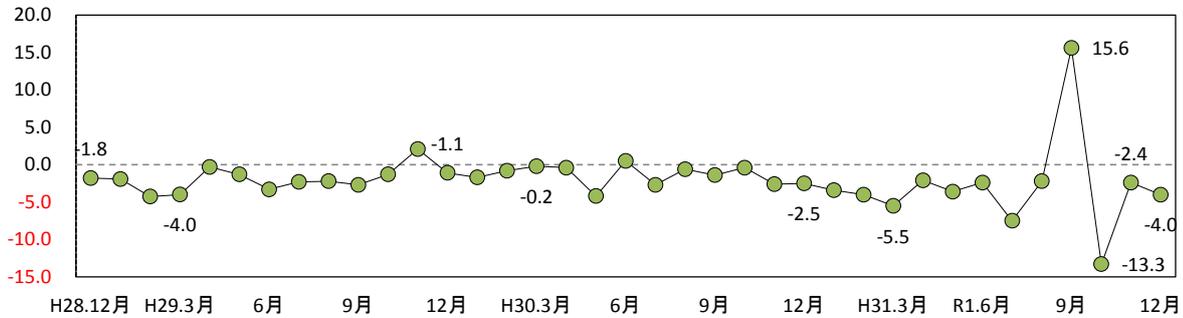
		総合	製造業	小売業	卸売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	1月～3月実績	△ 7.5	0.0	△ 25.0	△ 16.6	0.0	0.0	0.0
	4月～6月予想	△ 12.5	△ 10.0	△ 37.5	0.0	△ 25.0	0.0	0.0
売上	1月～3月実績	△ 15.0	△ 20.0	△ 25.0	△ 33.3	0.0	0.0	0.0
	4月～6月予想	△ 10.0	△ 10.0	△ 25.0	△ 33.3	25.0	0.0	0.0
受注残	1月～3月実績	△ 11.1	△ 20.0	***	***	***	0.0	***
	4月～6月予想	△ 16.7	△ 30.0	***	***	***	0.0	***
施工高	1月～3月実績	12.5	***	***	***	***	12.5	***
	4月～6月予想	12.5	***	***	***	***	12.5	***
収益	1月～3月実績	△ 27.5	△ 20.0	△ 37.5	△ 16.6	△ 50.0	△ 25.0	△ 25.0
	4月～6月予想	△ 20.0	△ 10.0	△ 25.0	△ 33.3	△ 25.0	△ 12.5	△ 25.0
販売価格	1月～3月実績	2.5	0.0	12.5	△ 16.6	25.0	0.0	0.0
	4月～6月予想	5.0	0.0	12.5	△ 16.6	25.0	12.5	0.0
仕入価格	1月～3月実績	20.0	10.0	37.5	0.0	25.0	37.5	0.0
	4月～6月予想	15.0	10.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0
在庫	1月～3月実績	△ 2.8	0.0	0.0	△ 16.6	***	0.0	0.0
	4月～6月予想	△ 2.8	0.0	12.5	△ 33.3	***	0.0	0.0
資金繰り	1月～3月実績	△ 12.5	10.0	△ 25.0	△ 16.6	△ 25.0	△ 25.0	0.0
	4月～6月予想	△ 10.0	0.0	△ 12.5	△ 16.6	△ 25.0	△ 12.5	0.0
残業時間	1月～3月実績	△ 10.0	△ 10.0	△ 25.0	0.0	0.0	△ 12.5	0.0
	4月～6月予想	△ 10.0	△ 20.0	△ 12.5	0.0	0.0	△ 12.5	0.0
人手状況	1月～3月実績	△ 15.0	0.0	△ 25.0	0.0	0.0	△ 50.0	0.0
	4月～6月予想	△ 12.5	10.0	△ 25.0	0.0	0.0	△ 50.0	0.0

県内大型小売店販売額

令和元年12月の大型小売店販売額は116億円で、前年同月比4.0ポイント下降となっています。品目別では、衣料品が前年同月比9.1ポイント下降、飲食料品が0.3ポイント下降、その他の商品が7.7ポイント下降となっています。

(%) 大型小売店販売額(前年同月比)

(店舗調整前:経済産業省)

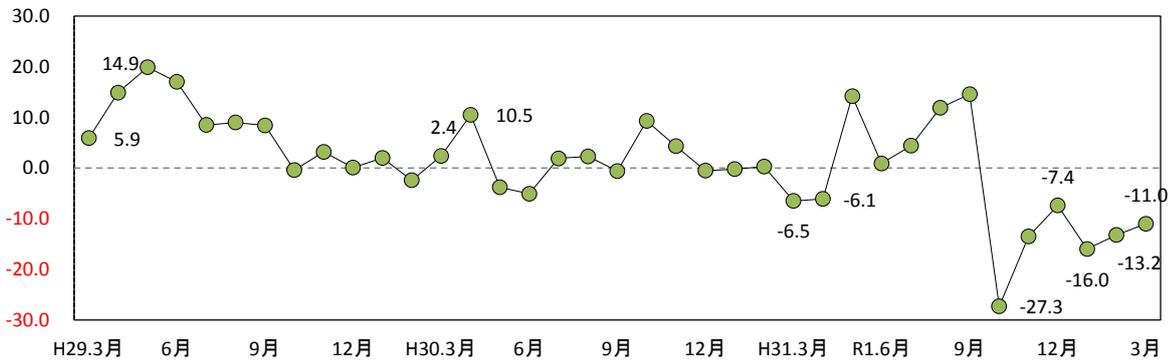


県内新車販売台数

令和2年3月の登録車と軽四輪車合計の新車販売台数(総合計)は5,721台で前年同月を11.0%下回りました。車種別では、普通乗用車が1,263台で前年同月比23.4%減、小型乗用車が1,352台で前年同月比5.8%減となりました。また、軽四輪車の合計は2,604台で前年同月比8.5%減となりました。

(%) 新車販売台数(前年同月比)

(日本自動車販売協会連合会大分県支部調)

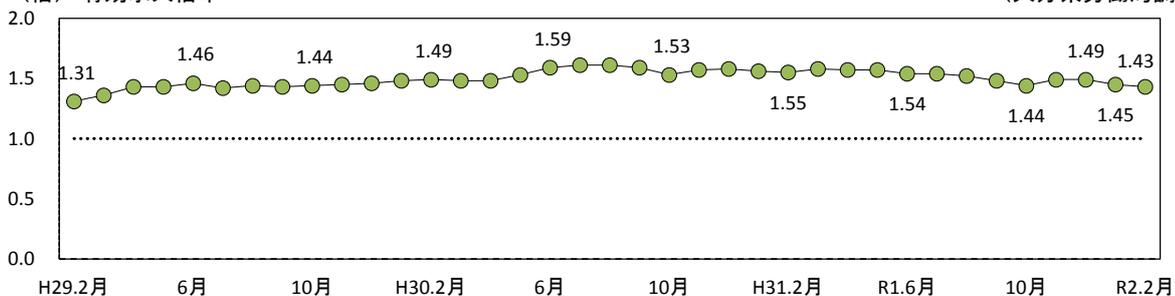


県内有効求人倍率

令和2年2月の有効求人倍率は、前月を0.02ポイント下回る1.43倍となりました。地域別で見ると、大分管内1.70倍(前月比▲0.06ポイント)、別府管内1.20倍(前月比▲0.02ポイント)、中津管内1.54倍(前月比▲0.03ポイント)と高水準を維持していますが、今後については新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に十分注意する必要があります。

(倍) 有効求人倍率

(大分県労働局調)

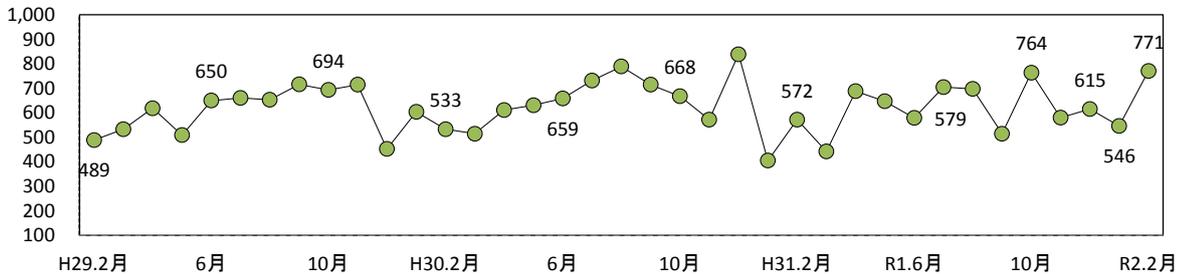


県内新設住宅着工戸数

令和2年2月の住宅着工戸数は771戸でした。そのうち、持家は226戸、貸家は452戸、分譲住宅は65戸となっています。

(戸) 大分県新設住宅着工戸数

(国土交通省調)



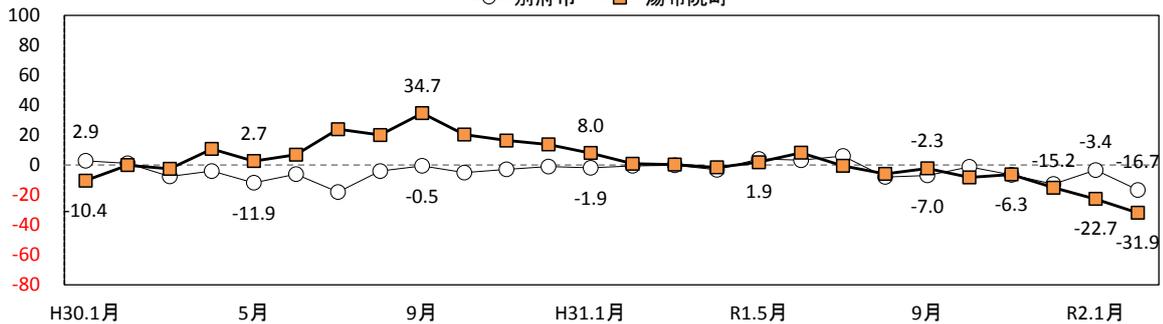
観光動向

令和2年2月の前年同月比宿泊人数は、別府地区で19.9ポイントの下降、湯布院地区で31.9ポイントの下降となりました。令和2年2月の前年同月比宿泊人員データは、別府地区80.1%、湯布院地区68.1%となっております。

(%) 宿泊人員(前年同月比)

○—別府市 □—湯布院町

(当金庫調)



企業倒産状況

東京商工リサーチ大分支店の調査によると、令和2年3月の県内の企業倒産件数は4件で297百万円でした。令和元年の累計は49件7,833百万円、令和2年度の累計は12件936百万円となっています。

(百万円) 企業倒産

■—金額 ●—件数(東京商工リサーチ大分支店調)(件数)

